

細島小学校「よのなか教室」

講師 大山 由美さん（マナー講師）

1 ねらい： あいさつを中心としたマナーの意味と方法を学ぶことで、なぜあいさつが必要なのかに気付くことができ、進んであいさつできるようになる。

2 期日： 平成27年10月9日（金） 2・3校時（9：35～11：10）

3 受講児童数： 第5・6学年 30名

4 学習の流れ

学習内容及び学習活動	指導上の留意点
1 本時学習について知る。 - 大山由美さんの紹介 2 大山由美さんの話を聞く。 - 朝に誰とあいさつをしたか - あいさつの意味 - 気持ちの良いあいさつとは	○ 大山さんには、打ち合わせの際、登校のビデオを見てもらったり、話をしたりして、細島小の現状を知ってもらう。 ○ 大山由美さんには、実際には以下のことを伝えてもらうように、事前打ち合わせを行った。 ① なぜあいさつが大切なのか ② あいさつをするとなぜいいのか ③ あいさつの仕方
 	 
3 自分ができるあいさつの目標を立てる。 4 大山さんに感謝の言葉を伝える。	○ 大山さんの話を通して、感じたことを中心に代表児童が感謝の言葉を伝える。

5 児童の感想

よのなか教室 「大山由美さんのマナー講座」

日向市立 細島小学校 (5) 年
名前 ()

【活動を通しての感想】(すごい、さすがだ、すばらしい...と思ったこと、これから生かしたいこと)

私は、今日のマナー講座でいろいろなことが分かりました。

1つ目は、あいさつについてです。あいさつは、笑顔で、目を合わせると、最強だと分かりました。なので、私も、笑顔で目を合わせ、さらに心をこめてしたいなと思いました。相手からすると心かっという気持ちになります。

2つ目は、おじぎの仕方についてです。私はおじぎをするときは、ただ頭を下げているだけでしたが、今日の話を聞いて、うかうんだなと思いました。まず、先言後礼です。あいさつをした後に、おじぎをすることです。目線は、2m3m先で、30°ぐらい曲げます。しせいを良くするとき、足がぐしゃぐしゃ、しせいがいつも悪いんだなと思いました。なのでこれから、しせいをよくしたいです。今日は本当にありがとうございました。

よのなか教室 「大山由美さんのマナー講座」

日向市立 細島小学校 (5) 年
名前 ()

【活動を通しての感想】(すごい、さすがだ、すばらしい...と思ったこと、これから生かしたいこと)

今日の、あいさつマナー講座で思ったことが、たくさんあります。1つ目は、今まで自分がやっていたことはまちが、っていたところです。例えば、家に帰っても、くつをきちんとそろえなかったり、おかしを食べるときもあいさつをいなかったところです。もしも、今日のようなことが無かったら、何にもさい用されない大人になっ、ていたと思います。だから、あいさつを大事にし、ろ、て言う人ですね。

あと、会しゃくです。学校でも言われてたけど、れいがあさくて、えしゃくとも思われないので、す、も、今はちがいます。し、かりあさめにれいをします。今日はいろいろかしい中、わざわざ来、ていたんで、ありがとございます。

6 授業者の気づきや学び

- 日向市キャリア教育支援センターを活用しての、初めてのよのなか教室だったので、打ち合わせの仕方や授業の進め方などとまどってしまった部分があったが、他の学校の事例が大変参考になった。
- よのなか先生の話だけでなく、実際におじぎの仕方や笑顔の作り方のワンポイントアドバイスなど具体的な指導もしてもらったのが良かった。
- 児童の感想を見てみると、あいさつの大切さや意義が実感をともなって理解できていたので、いい経験をさせることができた。